

サーベイランスアルゴリズム・診断アルゴリズム

超高危険群: 3~4カ月毎の超音波検査
 3~4カ月毎の AFP／PIVKA-II／AFP-L3 の測定
 6~12カ月毎の CT／MRI 検査(Option)
 高危険群: 6カ月毎の超音波検査
 6カ月毎の AFP／PIVKA-II／AFP-L3 の測定

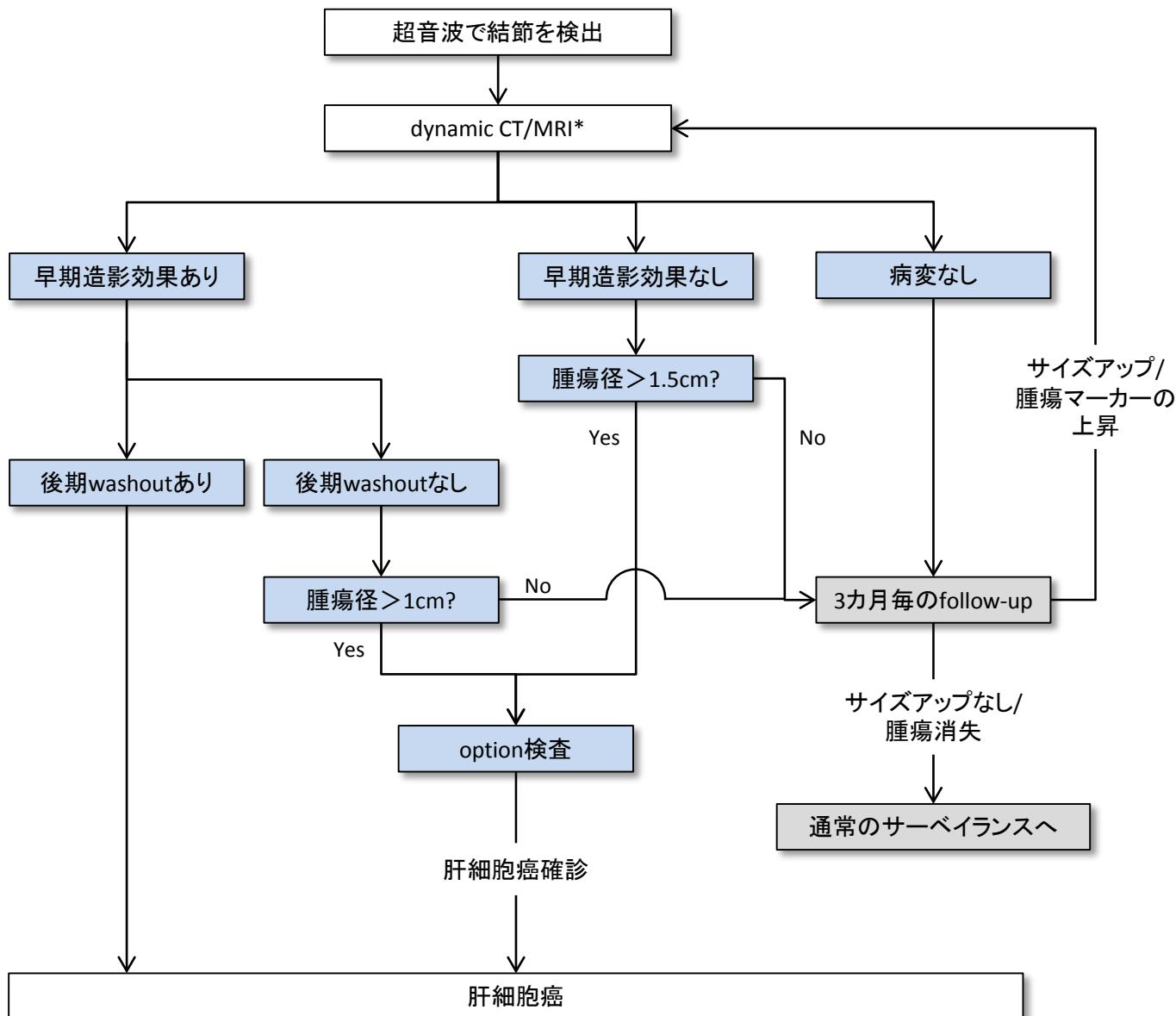


図1 肝細胞癌サーベイランスアルゴリズム・診断アルゴリズム

*超音波の描出不良等を理由に超音波で結節の描出がなくても CT／MRI を撮影する場合もある。腎機能低下例、造影剤アレルギー例などでは造影超音波検査も考慮される。